



会社概要

昭和34年9月、大塚製作所として上谷で創立。昭和36年に大塚カム(株)に社名変更。平成8年には現在の社名・現所在地となった。「彩の国ビジネスアリーナ」にも出展し、先端産業の一翼を担う企業として、その取組をPRしている。



意見交換した従業員の皆さんと記念撮影

市長のオフサイト訪問 ◆ 「(株)オオツカハイテック」

また、育児休業明けの入所予約制度を県内でも早期に実施するなど、保護者の方がスムーズに仕事に復帰できるようサポートしています。

Q 高齢者の活躍の場はどのようなものがありますか？

A 人生100年時代といわれるなか、高齢者の皆さんの活躍の場も広がっています。シルバー人材センターへの登録など、知識・経験を活かした就労に励んでもらうこともありがたいですね。

また、公民館でのサークル活動、ラジオペ操やウォーキング、のすっこ体操などの介護予防体操を通じて、地域の皆さんと触れ合うことで、健康に暮らしてもらうことが何よりだと思っています。

Q レジ袋の有料化の義務付けなど、環境保全に関して国で検討しているようですが、これから私たちにできることはありますか？

A ごみの減量は環境問題の重要な課題の一つです。市では「チャレンジ33」と題して1日の市民一人当たりのごみの排出量を33g減量することに取り組んでいます。例えば、生ごみの約8割を占める水分をよく切ることや食事を残さず食べ切ることなど、一人ひとりが日常生活で出来ることから取り組んでもらうようお願いしています。この「チャレンジ33」を達成すると年間約2,500万田のごみ処理費用の削減が見込まれます。ごみの減量は処理費用の削減に、さらには地球環境の保全に繋がります。

わが街知っとこ!

(株)オオツカハイテック
所在地：上会下626

市内で頑張る企業や事業者の皆さんを、市長が訪問し意見交換をします。

大塚代表取締役のひとこと



この度は、ご来社いただき、ありがとうございます。私たちの会社は、平成31年に創立60周年を迎えます。カム製品の製作をはじめ、各種金属加工業務を行なっております。

今後、市内企業から世界へ良質な商品をお届けできるよう、社員一人丸となって頑張っております。



↑カム製品の一例
回転軸に取り付けられる機械要素。機械やプレス機械などに用いられる。

懇談の一部を紹介

Q 鴻巣駅前で再開発を行っています。他に再開発の予定はありますか？

A 「鴻巣駅東口駅通り地区市街地再開発事業」は順調に進んでおり、商業施設や195戸のマンションを有する14階建てのビルを建設中です。駅前の整備は昭和40年代から構想しているもので、数々の調整をしながら、実現してきました。

現在のところは他に再開発の予定はありませんが、広田や北新宿の区画整理事業も行っていますので、そちらの分譲による転入増にも期待しています。

Q 保育事業に関して、課題はありますか？

A 保育士の不足が課題となっています。市では、一定条件を満たし、研修を修了した職務分野別リーダー等へ処遇改善を行うなど、民間保育所への補助も進めています。



工場見学の様子

